

第2回横浜市旭区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事要旨

日 時	令和6年5月16日（木）午前10時00分から午前11時35分まで
開催場所	旭区役所3階カンファレンスルーム
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長：影山 摩子弥（横浜市立大学都市社会文化研究科教授） 職務代理者：中村 広子（旭区地域子育て支援拠点運営法人代表） 委員：岡田 孝弘（旭区医師会会長） 酒井 むつ子（旭区社会福祉協議会ボランティア分科会会長） 鈴木 敦子（旭区民生委員児童委員協議会会長） 仁科 美奈江（めばえ会親の会代表） 松浦 光洋（税理士） 和田 栄一（旭区老人クラブ連合会会長）</p> <p>【事務局】</p> <p>旭区役所 福祉保健センター長 下澤 福祉保健課長 戸矢崎 福祉保健課事業企画担当係長 伊藤 福祉保健課事業企画担当 上地、小林</p>
欠席者	なし
開催形態	一部非公開（応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答は、応募団体関係者を除き公開）（傍聴者なし）
議 事	<p>1 あいさつ 旭福祉保健センター長よりあいさつ。</p> <p>2 委員紹介 事務局より選定委員の紹介。</p> <p>3 事務局説明</p> <p>(1) タイムスケジュールについて</p> <p>(2) 採点の仕方について 事前の書類審査と本日の面接審査を総合的に勘案し、項目7を除く各項目の採点は5段階で評価を行う。 総得点は、委員8人の採点結果のうち最高点と最低点を除いた6人分の点数を合計し算出する。</p> <p>(3) 選定条件について 最低制限基準（評価基準項目の項目7「前期の指定管理業務の実績」を除く配点合計（290点）に最高点を付けた委員及び最低点を付けた委員を除く残りの委員数（6名）を乗じて算出した点数の60%）を満たす必要がある。 今回の最低制限基準は、1,044点。</p>

4 地域ケアプラザの指定候補者選定

<横浜市今宿西地域ケアプラザ>

応募団体：社会福祉法人清光会

(1) プレゼンテーション及び主な質疑応答

[プレゼンテーション]

応募団体から、法人概要及び事業計画等について説明を行った。

[主な質疑応答等]

・今宿地区は地域子育て支援拠点から遠いため、地域ケアプラザでしっかり地域の妊婦や養育者を支えてほしい。子どもや妊婦が気軽に立ち寄れる機会を地域ケアプラザで作っているか。

→地域からはまだまだ高齢者の相談先として認識されることが多い。子育て支援事業を実施しており参加者はいる。地域子育て支援拠点は遠くても地域ケアプラザなら行けるという人を増やしていきたい。

・障害は精神障害だけではないが、説明を聞いていると障害者支援の中では精神障害の対応に重きを置いているように思われた。他の障害への対応は。

→精神障害の支援は一朝一夕には進まないで、本人が困ったときに地域ケアプラザを頼れるような関係づくりをしていきたい。知的・身体障害のある方には、法人での雇用や障害者支援団体の地域ケアプラザ祭りへの出展等、活躍できる場の創出を検討している。

・精神障害の支援の充実比べ、知的障害の支援は少ない印象。サロン等の企画の充実と、増えている相談への対応を期待する。

・現指定期間では新型コロナウイルス感染症の影響で事業の中止等があり、財務面で指定管理料に余裕が出たのではと推察される。今回の提案書はその点が考慮されているか。

→感染症対応期間中は地域ケアプラザで行う一部の事業は中止していたが、高齢者向けの介護予防やフレイル予防の講座等は継続して実施していた。そのため、感染症対応期間前後で事業費の支出額に大きな変化は見込んでいない。

・今宿西地域ケアプラザの特徴を教えてください。認知症支援事業ではどうか。

→今宿地区は、国道16号線沿いは生活面で便利だが、国道から離れると山坂が多いため買い物が不便になるなど、二極化している状況。山坂に住む高齢者の方も日常生活に困ることなく生活を続けていけるよう、生活支援体制整備事業で移動販売の支援などを行っている。

認知症支援事業では、小中学校でボランティア活動を行う児童・生徒に認知症サポーター養成講座を実施するなど、地域づくりの手伝いをしている。

(2) 審査結果

横浜市今宿西地域ケアプラザ

応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
社会福祉法人清光会	1,302点／1,800点 ^{※1}	1,307点／1,044点 ^{※2}

※1：委員1人あたり300点×最高点及び最低点の委員を除いた6名分

※2：委員1人あたり290点×最高点及び最低点の委員を除いた6名分×60%

以上より、次のとおり指定管理者の候補者を選定する。

- ・横浜市今宿西地域ケアプラザ

指定候補者：社会福祉法人清光会

次点候補者：無し

(3) 講評

・どの質問にもすぐに回答があった。ある程度想定して臨んでいたと思うが、しっかりしている印象を受けた。

・応募書類には素晴らしい内容が書かれているが、地域ケアプラザの実態を知らないと応募団体の良し悪しを見分けるのが難しい場合もあると思われる。

・今回は1団体のみ応募だったが、競合があった方が、審査にあたり委員が比較により判断しやすく、応募団体側でも予算の精査が進むのでは。難しいとは思いますが、複数の団体から応募があるような募集の仕方をぜひ検討してもらいたい。(事務局への意見)

・委員長から、応募団体について選定委員の評価が高かった項目を紹介。

「運営ビジョン：地域におけるケアプラザの役割」、「団体の状況：団体の理念、基本方針及び事業実績等」、「団体の状況：財務状況」等の項目が高評価。全体として、足元がしっかりしていると見た。

(4) その他

上記の選定結果を区長に報告する。

以上